日本農業技術検定協会

平成２７年度から日本農業技術検定３級試験制度の一部が変更されました

日本農業技術検定３級試験については、平成２７年度から受験生の負担を軽減し、より受験し易くするために下記の通り試験制度の変更をすることとなりました。

改正の内容

１．共通問題と選択問題の問題数の変更

現在の３級試験問題は、全５０問中、共通問題４０問、選択問題１０問となっていますが、農業の専門性を考慮し、共通問題３０問、選択問題２０問とします。

２．選択問題の細分化

共通問題の選択数を２０問とするにあたり、選択問題のうち５問については、農業の地域性を考慮した１０問の中から５問を選択できることとなりました。

また、環境系の選択問題については、他の選択科目より専門性が高いことを考慮し、更に３種類（造園、農業土木、林業）別に１０問の中から５問を選択できることとしました。

※また、これに併せて現在の３級試験の出題領域は、細目が膨大な範囲となっているため簡素化を図り、共通問題と選択問題での出題領域の違いを明確にしました。